令和7年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月12日
学校法人神明の杜　神明幼稚園

1. 本園の教育目標

「あそびこむ」を園のテーマとし、幼稚園での日々の「遊びと生活」を通じて幼児期の発達段階に相応しい経験を幼児に提供することによって、以下の6つの具体的目標を達成することを目指す。

1. 日々の生活と発達段階に相応しい活動を通じて、健康な心と身体を育てる。
2. 保育者との信頼関係を土台に周囲の仲間と関係を築き、集団の中で自分を発揮する力を育てる。
3. 日々の生活と遊びの中の多様な経験の積み重ねを土台に、自分で問題を解決する力の基礎を育てる。
4. 言葉で思いを伝え、他者の言葉を聞く意欲や態度を育てる。
5. 音楽や造形、劇遊びなどの多様な活動を通じて豊かな感性と創造力を育てる。
6. 神明さまに見守られて日々を過ごし、感謝する心を育てる。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1. 支援や配慮を必要とする幼児の対応について、作業療法士の八重樫孝之氏の保育中のコンサルティングと保育者とのカンファレンスを定期的（各学期1～2回）に行う。
2. 「にじむって何だろう？」をテーマに、造形講師・荒野真司氏と共に各学年で年間を通じて造形活動を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

1.

	評価項目	評価	取り組み状況
	幼児が主体的で豊かな経験をすることができたか	A	集団活動の参加が得意でない幼児の個々の特性を理解することで、幼児の主体的で豊かな園生活につながった。
	個々の幼児の特性に応じた対応ができたか	A	苦手なところに注目しがちだが、得意なところに注目することでより適切な対応ができた。
	幼児の成長と課題を保護者と共有できたか	A	作業療法士を交えて保護者と面談することで、保護者の家庭での対応について具体的に助言することができた。

2.

	評価項目	評価	取り組み状況
	幼児が主体的で豊かな経験をすることができたか	A	共有スペースに絵の具コーナーを設け、幼児が興味をもって自ら活動に取り組むきっかけを作ることができた。
	個々の幼児の特性に応じた対応ができたか	A	少人数のグループで活動を行うことで、個々の幼児に応じた丁寧な言葉かけをすることができた。
	幼児の成長と課題を保護者と共有できたか	A	日々のドキュメンテーションの形で掲示するほか、劇遊びの発表会の壁面等を作ることで生花を共有できた。

4. 学校関係者評価委員会の評価

自己評価をもとに、今年度重点的に取り組んだ2つの活動について、評議員からなる学校関係者評価委員会で評価を行い、以下の評価をいただいた。

- 作業療法士との協働については、小学校以上でも集団生活にうまく参加できない児童が増えている中で、幼稚園でこうした取り組みを行うことは先進的で有効だとたいへん良い評価をいただいた。
- 「にじむ」ことをテーマにした造形活動については、子どもたちが興味をもって活動する姿が目に浮かぶという好意的な評価をいただいた。また、造形講師と共に行う光景活動を20年以上継続していることについても高く評価していただいた。

以上